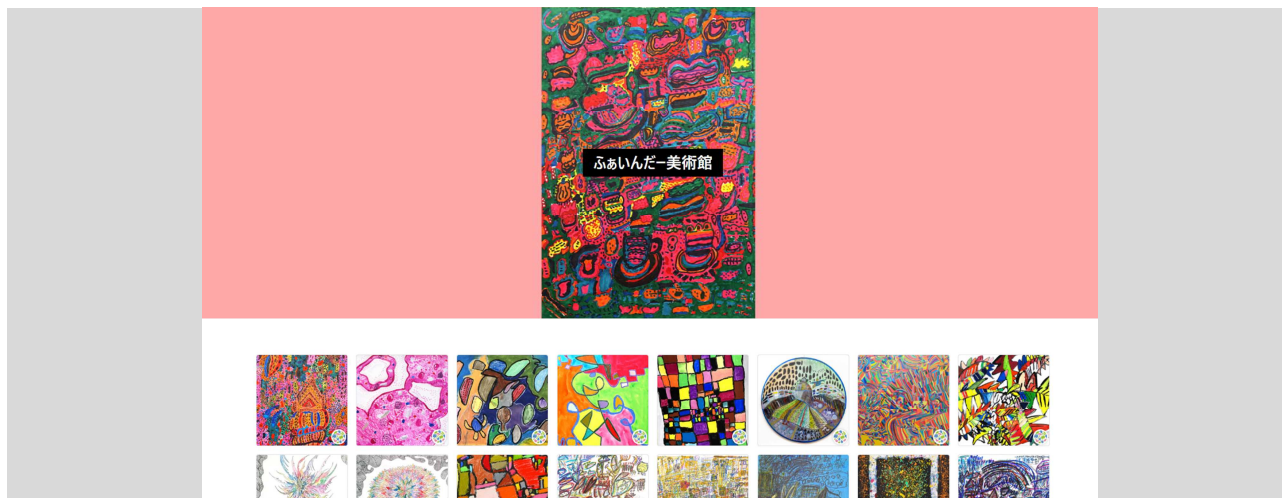


静岡県発☆障害者アートレボリューション

分野

文化・芸術



静岡県障害者芸術ポータルサイト「ふあいんだー(Findart)」

①現状・課題

- ✓ 障害のある人による表現活動について、作品そのものが持つ芸術性や創造性に着目した取組を進めており、障害者文化芸術の魅力を発信するポータルサイト「ふあいんだー(Findart)」への掲載作品数が年々増加している。また、県芸術祭やまちじゅうアート（障害者アート作品の有償貸出し事業）などの取組により発表機会や情報発信の場を整備している。
- ✓ 一方、まちじゅうアート事業においては、貸出可能作品数が約2,000点まで拡大しているものの、企業・団体による活用の広がりには限定的である。また、障害者アートは、福祉的な取組や社会貢献の一環として認識されることが多く、文化芸術としての魅力や価値が十分に伝わっておらず、県の総合計画の成果指標である「1年間に文化・芸術に関わる活動を行った人の割合」も目標とする25%に届いていない。
- ✓ 障害者アートを含む本県の文化芸術について、ポップカルチャーなどのカジュアルな表現の組み合わせにより、既存の枠組みにとらわれない新たな関わり方を生み出し、これまで障害者アートに触れたことのない県民や、一般企業・病院・カフェなどのアートの活用層に対する認知を広げていく必要がある。

②実現したい未来

- ✓ 障害者アートが、福祉や社会貢献の文脈にとどまらず、芸術性やデザイン性を備えた、新しい魅力ある文化コンテンツとして広く認識され、県民や企業が、障害者アートを特別なものとしてではなく、日常生活の中で自然に触れ、活用し、関わる機会が広がっている社会を目指す。
- ✓ 優れたアーティストが経済的な自立に向けた一歩を踏み出せる未来を目指す。
- ✓ 定量目標として、障害者アート作品の貸出件数の増加や、障害者アート関連のプロジェクト数の増加、県芸術祭と一体化して開催するふあいんだーアート部門(旧障害者文化芸術部門)の参加者数の増加につなげたい。

### ③民間企業との協業イメージ

障害者アートを特別なものとしてではなく、日常生活の中で自然に触れ、活用し、関わる機会が広がる仕組み。

【想定する提案例】※あくまで例示であり、これに限るものではありません。

- ✓ 障害者アートとポップカルチャー、ファッション、観光、地域産品等を掛け合わせ、アートの貸出促進、認知拡大につながる新しい取組み
- ✓ 障害者アートの魅力を、若者や一般層に伝わりやすい形で情報発信するプロモーション・ブランディングや、新たな体験、デジタルを活用した取組み

【提供可能なアセット】

- ✓ 障害者文化芸術の魅力を発信するポータルサイト「ふあいんだー」掲載作品群（約2,000点）のアーティストへの接続機会
- ✓ 県障害者文化芸術活動支援センター「みらーと」との連携

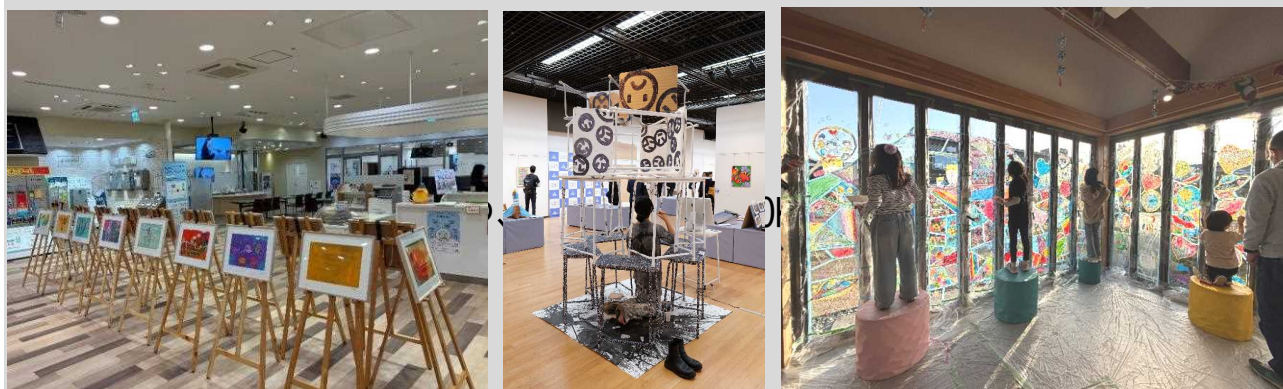
### ④担当部署／担当者コメント

障害者アートは、その個性あふれる作品を通じて、障害のある人を社会とつなげ、活躍の場を大きく広げる可能性を持っていると考えています。私たちはこれまで、独自の取組として障害者文化芸術の魅力発信ポータルサイト「ふあいんだー（Findart）」を運営し、一つひとつの作品の魅力を発信してきました。

しかし、障害者アートには、まだ十分に伝えきれない魅力や可能性があると感じています。福祉や社会貢献の枠を超え、自然に受け入れられ、県民の皆さんが「関わってみたい」「一緒に広げたい」と思える取組へと発展させていき、静岡県ならではの新たな文化の価値を生み出していきたいと考えています。

アートは障害の有無による優劣がなく、一人ひとりの作家にしか生み出せない個性と価値があります。行政だけでは届けきれない魅力を、民間の力で一緒に広めていけるよう、ぜひご提案をお願いいたします。

### 関連取組の内容



県内各地で実施している展示会・ワークショップ